【北海道旭川市】【北海道労働局・ハローワーク旭川】

平成24年4月1日事業開始

雇用のミスマッチ解消のための職場見学会を共同開催

【課題・目的】

旭川市における雇用のミスマッチの解消を図るため、人手不足分野を中心に、それぞれの職業に直接触れる機会を設け、職業選択の幅を広げつつ早期就職に結び付けることを目的としている。

【実施概要】

委託により送迎バスを準備し、各分野の事業所見学及び見学先事業所で就労している従業員等と膝を交えた意見交換の場を設ける。

事業所見学後は、職業理解セミナーを開催し、参加者の職業理解の促進及び就職支援を行う。

また、本事業参加者のうち希望者に対し、個別カウンセリングによる就職に向けたアドバイス等、アフターフォローを実施。

【役割分担】

【旭川市】
・市広報等による、市民（潜在求職者）に向けた広報・周知
・見学先の選定作業の調整

【ハローワーク旭川】
・雇用保険受給者や一般求職者の方に対する周知・参加勧奨
・見学後、必要に応じ、求職活動に対する支援

【効果】

★ 全9回（1回あたり2事業所を訪問）開催し、延べ112名の参加。
★ 参加者のうち、就職者数は22名（うち見学先への就職者数12名）。
★ アンケートでは、未経験分野を体験できてよかったという感想が寄せられた。

＜旭川市コメント＞
地元企業の協力により見学内容が充実したほか、見学に留まらないアフターフォローを行ったことで、職業選択の幅を広げることにつながりました。

＜労働局コメント＞
市と国とが連携し、密接な情報交換、広報活動を行い、多くの求職者に参加いただけました。

≪照会先≫北海道労働局職業安定部職業安定課（TEL：011-709-2311（内線3674）　https://jsite.mhlw.go.jp/hokkaido-roudoukyoku/

【青森県】【青森労働局】

福祉・介護分野における雇用管理改善と人材確保のため、青森県介護サービス事業所認証評価制度の創設及び面接会等の共同実施

【課題・目的】

福祉・介護分野での人材不足が従来にも増して顕著となっており、また、介護職員の処遇改善及び人材育成等が定着にとって重要であることから、働きやすい環境づくりに積極的に取り組んでいる事業者を県が審査し、認証を付与することで、福祉・介護分野における雇用管理改善の推進と人材確保支援を目的として実施。

【実施概要】

青森県知事と青森労働局長の間で締結された「青森県雇用対策協定」に基づく事業計画において、人材不足分野等における人材確保対策の総合的な推進を連携して実施することとされており、福祉・介護分野の事業所の人材確保を支援するため処遇改善・人材育成及びサービスの質の向上に取り組んでいる事業所を県が認証し、県及び労働局等が積極的に周知。（認証による「事業所の見える化」推進）

【役割分担】

【青森県】

・「青森県福祉・介護人材確保定着グランドデザイン」を策定し、その中核的な取組として「青森県介護サービス事業所認証評価制度」を創設。

・青森県介護サービス事業所認証評価制度の運用（事業者への支援・審査等）及び認証された事業所の公表。

【国】

・「青森県福祉・介護人材確保定着グランドデザイン」の策定と、「青森県介護サービス事業所認証評価制度」の創設に参画。

・認証された事業所の情報をハローワークに通知し、求人票へ記載。

・各ハローワークが開催する面接会等で、認証事業所である旨の机上表示等を行い、求職者に周知。

【効果】

◆平成29年度実施の認証事業所対象のバスツアー型見学会及び面接会には、見学会参加が42名、面接会15名、うち就職者が4名となった。

◆平成30年3月末現在、認証事業所が27事業所となっており、認証事業所アンケート結果においても、認証取得後の充足率の上昇や離職率の改善等が効果として現れている。

＜青森県コメント＞

制度創設段階から県と労働局で密に連携を取ってきた。ハローワークにおける認証事業所の積極的な周知は人材確保に大変効果的であり、より一層連携を強化していきたい。

＜労働局コメント＞

求職者にとって、認証事業所は、働きやすい職場との認識から、面接会等の参加者も増加している。今後も県との連携を密にし、認証事業所を積極的に周知することで、事業所の人材確保を支援していきたい。

≪照会先≫　青森労働局職業安定部職業安定課　TEL017－721－2000　（https://jsite.mhlw.go.jp/aomori-roudoukyoku/）

【福島県いわき市】【福島労働局ハローワーク平】

人手不足業種人材確保対策のため、共同事業として業種別合同企業説明会・施設見学会を実施

【課題･目的】

著しく人手不足である業種（医療、介護福祉、保育）の人材確保対策を目的に開催

【実施概要】

◆　労働局、ハローワーク平、磐城、勿来、福島県、いわき市が共同開催

◆　医療業（８月）と介護福祉（１１月）の施設見学会を実施、保育士等（３月の雇用対策協定に基づき）の３業種で各１回合同企業説明会を実施

≪ハローワーク平といわき市の連携による開催≫

【役割分担】

【いわき市】
広報誌等に掲載し周知広報
企業への周知参加勧奨
企業説明会の運営

【国】
企業への周知参加勧奨
求職者への周知参加勧奨
企業説明会の運営

【効果】

◆　医療業（参加企業１２社、参加求職８９名、面談数９７件）

◆　介護福祉（参加企業１０社、参加求職者４１人、面談数４５件）
施設見学（７施設、１４名参加）

◆　保育士等（参加企業１５社（１７施設）参加求職者１７名、面談数４１件）

＜いわき市コメント＞
　人手不足業種の人材確保対策として有効であり、業界から大変良かった。また、開催して頂きたいとの要望がありました。

＜福島労働局コメント＞
　連携により、事業所・求職者に広く周知し、人手不足分野に対する取組ができた。参加者も多く、連携による効果が現れた。

≪照会先≫ 福島労働局職業安定部職業安定課 （電話:024-529-5338）
（HPアドレス:https://jsite.mhlw.go.jp/fukushima-roudoukyoku/）

【福島県郡山市】【福島労働局ハローワーク郡山】

人材確保対策のため、共同事業として建設業の事業主を対象に「建設人材確保セミナー」を実施

≪ハローワーク郡山と郡山市の連携によるセミナー≫

【課題･目的】

人材不足が顕著である建設関連求人の充足促進を図るため

【実施概要】

- ◆ 建設分野における求職者情報の提供
- ◆ 魅力ある求人票の書き方
- ◆ 建設労働者確保育成助成金の説明
- ◆ 働き方改革の説明等

【役割分担】

【郡山市】
- 市の雇用関係統計資料及び取組内容の説明

【国】
- 事業主への参加勧奨
- 人材確保支援策の説明

【効果】

◆参加者数・・・29社、31人
◆今後、魅力ある求人票を求職者へ提供することにより、充足促進が図られる。
◆参加企業が雇用環境の改善に取り組むことで、地域における建設業へのイメージが向上し、人材確保につながっていく。

＜郡山市コメント＞
労働局・ハローワークと市が連携し、人材確保対策事業を実施したことは、とても有意義なことであり、今後も連携していきたい。

＜労働局コメント＞
参加企業から好評価をいただきました。今後も人手不足分野の充足促進に努めてまいります。

≪照会先≫ 福島労働局職業安定部職業安定課（電話:024-529-5338）
(HPアドレス:https://jsite.mhlw.go.jp/fukushima-roudoukyoku/)

【福島県南相馬市】【福島労働局ハローワーク相双】

震災等の影響により介護スタッフが市外へ避難。深刻な人材不足への対応として「介護職員合同就職説明会を連携により開催」

【課題･目的】

南相馬市における介護事業所においては、震災等の影響による介護職員の市外避難により、介護に携わるスタッフが不足し、十分な介護サービスが提供できないなど深刻な状況が続いている。これらの状況を踏まえ介護職員不足の解消を図ることを目的として介護職員合同就職説明会を開催した。また、市外避難者等への周知広報等により帰還促進への効果も図る。

【実施概要】

求職者から事業所への就労に係る相談の場と位置付けて、各事業所毎のＰＲタイムの実施や、求職者が複数の事業所のブースを自由に回り、希望する場合は後日正式に応募する等、求職者が参加しやすい企画運営となっている。

【役割分担】

【南相馬市】：主催
- 介護事業所への開催案内等の企画運営
- 市の広報等を活用した開催周知（新聞折込チラシ・市政だより・避難者向け広報物・公共、商業施設等へのポスター掲示等）など

【ハローワーク相双】：共催
- 開催に係る周知広報
  所内へのポスター等の掲示
  求職者へ参加勧奨ＤＭの送付
  求人情報誌へ開催案内を掲示
- 会場へHW相談ブースを設置

【効果】

平成２９年度に２回開催
第１回　平成２９年１２月１７日（日）　第２回　平成３０年３月４日（日）
参加事業所数（延べ）　３５社　　参加者数（延べ）　４３名

＜南相馬市コメント＞
市・県外向けには県の交通費助成・奨学金事業とセットにした広報を行い、当日は求職者が全参加事業所のＰＲを聞いて回るマッチングイベントを実施するなど人材不足の解消に向けた多様な企画に努めた。今後も事業を継続して人材不足の解消を図りたい。
＜労働局コメント＞
市外避難者への広報等、自治体ならではの情報発信により南相馬市の現状も併せて周知を図れ、求職者の職場理解も図れる等有意義な事業である。

≪照会先≫ 福島労働局職業安定部職業安定課 （電話:024-529-5338）
（HPアドレス:https://jsite.mhlw.go.jp/fukushima-roudoukyoku/）

【栃木県鹿沼市】【栃木労働局ハローワーク鹿沼】

地域企業の人材確保及び地元就職希望の若年者対象の合同面接会を実施

【課題･目的】

優秀な人材を求める事業所と地場就労を希望する求職者を一堂に集め効率的な人材発掘の場と就職機会を提供すること目的とした合同面接会を２回開催。

【実施概要】

鹿沼市・ハローワーク鹿沼・鹿沼商工会議所・粟野商工会・鹿沼市雇用対策協定運営協議会・鹿沼地区雇用協会との連携により実施。

◆求人企業合同面接会

・第１回　平成29年　6月2日（金）13：30～16：00
　参加企業28社　参加者46名　面接件数49件　就職者12名

・第２回　平成29年11月1日（水）14：00～16：00
　参加企業25社　参加者38名　面接件数34件　就職者12名

◆企業プレゼンテーション

平成29年11月1日（水）13：00～14：00
参加企業8社

【役割分担】

【鹿沼市】
- 会場の設営
- 面接会リーフレット配布
- 広報誌及び新聞折込チラシによる周知
- 県内大学等へ訪問周知

【ハローワーク】
- 求人票作成
- 求職者へ勧奨等の周知
- 参加事業所へ事前説明会実施
- 関係機関との調整

【効果】

ハローワークの周知、自治体等の広報誌、新聞折込チラシ及びホームページ等により、合同面接会の第1回面接件数は49件、就職者数12名（新卒1名、一般11名）第2回面接件数は34件、就職者数12名（新卒4名、一般8名）であった。

＜鹿沼市コメント＞

雇用対策協定を結んだことで、ハローワークと連携を密に図ることができ、人手不足対策を効果的に実施できるようになった。今後も関係機関と協同で取組みを実施していきたい。

＜ハローワークコメント＞

今後とも地方自治体等と密接な連携を図り、若年者等の求職者に少しでも地元企業の魅力を感じとって雇用機会に繋げていく取組みを行っていきたい。

≪照会先≫ 栃木労働局職業安定部職業安定課 ･････････(電話番号)028－610－3555

【神奈川県横浜市瀬谷区】【神奈川労働局ハローワーク戸塚】

瀬谷区内企業の人材確保対策のため、共同事業として面接会を実施

≪ハローワーク戸塚と瀬谷区の連携による面接会≫

【課題･目的】

管轄内で当ハローワークにアクセスが悪い（瀬谷区役所の場合は車で50分、公共交通機関で65分）瀬谷区の企業に特化した面接会を瀬谷区役所と共催して人材確保を図る。

【実施概要】　平成30年2月1日実施

◆　製造業やサービス業等の企業を中心に参加企業を選定。求人は正社員求人とし、一部企業はパートも併せて面接を実施。
◆　瀬谷区のマスコットキャラクターせやまるの使用承諾を取り、ポスター、リーフレット、求人一覧表等に掲載。
◆　ＨＰ掲載、沿線のハローワークに周知、求職者の誘導を依頼。区役所内及び広報よこはま瀬谷区版平成30年1月号へ掲載。

【役割分担】

【瀬谷区役所】
- 大会議室の提供
- 広報よこはま瀬谷区版平成30年1月号へ掲載し区民に周知
- 当日運営１名参加

【国】
- 求人者への案内・選定
- 協同組合横浜総合卸センターへの傘下企業への周知依頼
- 求職者への周知・誘導
- 当日の運営

＜瀬谷区コメント＞
平成30年4月12日に当所所長が区長を訪問し、昨年度の面接会結果を報告したところ、今年度も面接会を共催しましょう、とのお言葉をいただいた。
＜ハローワークコメント＞
当所へのアクセスが悪い瀬谷区で面接会を開催したことで、ハローワークの存在を改めて認識していただき、瀬谷区内の企業との連携強化につながった。

【効果】

◆　企業10社、求職者23名が参加し、就職は6件。
◆　企業に対するアンケート結果は「人材確保に役立った」5割、「応募はなかったが自社のＰＲに役立った」3割であった。
◆　平成30年2月の瀬谷区内の常用求人数は前年同月比6.1％増。

≪照会先≫ 神奈川労働局職業安定部職業安定課　･････(045-650-2800(代))(https://jsite.mhlw.go.jp/kanagawa-roudoukyoku)

【神奈川県川崎市】【神奈川労働局　川崎ハローワーク】

保育士人材確保対策のため、共同事業としてセミナー及び面接会をパッケージにして実施

≪ハローワーク川崎と川崎市の連携によるセミナー＆面接会≫

【課題･目的】

神奈川県内の保育士登録者が約93,000人がある中で、保育士所等で働く保育士は30,000人に留まっている。有資格者が過去の就業経験（給与・勤務時間等の労働条件の劣悪さのイメージ）から敬遠していることが少なくないために、保育士を取り巻く最近の実態と自治体独自の就職支援策を広く周知して人手不足対策を進める。

【実施概要】

◆従前のようなセミナーだけで終了するのではなく、セミナーで意欲喚起を図った直後に事業所との面談時間を設定。
◆セミナーでは新たに自治体独自の保育士就職支援制度を説明する時間を設定。
◆比較的求職者ニーズの高い求人条件の事業所を選定し、マッチング効果を意識して実施。
◆無資格者の参加も可として、保育業務に興味のある人材を発掘するために実施。

【役割分担】

【川崎市】
◆「最新の保育士を取り巻く状況」及び「市独自の保育士就職支援制度」についての説明を行い就職意欲の喚起を図った。

【国】
◆周知・広報（当所来所者への声掛け及び登録者へ郵便にて参加勧奨。近隣のＨＷへ周知依頼）
◆当日の運営管理、参加者、関係者からの意見を集約し、今後の改善策を検討

【効果】

◆当日、セミナーに7名の参加者があり、セミナー終了後4名が面談ブースに入り、結果1名が採用された。（無資格者も４名参加があり、保育士業務の理解を深めた）
◆前半のセミナーの間、同会場後方で3社がブースで待機し、セミナー終了後その流れで面談に入りやすい環境をつくり、気軽に立ち寄れるように工夫した結果、思っていた以上に面談者の数が上がった。また、セミナーの講義内容の効果なのか、そのまま就職に至ったケースがあった。

＜川崎市コメント＞

本市は、「どこよりも子育てしやすいまち」をめざしており、保育所や地域の子育て支援などで活躍していただくおおぜいの保育士の方を必要としています。県内では、保育士の資格を持ちながら保育所等で働いていない方がおよそ６万人いるとも言われており、今回のように国の労働行政と連携した事業の中で、保育士職の魅力や待遇改善の取組伝えるとともに、市の保育士支援策を直接ＰＲできることは非常に効果的であると考えています。

＜ハローワークコメント＞

人手不足が顕著である保育士について、川崎市が行う「保育士就職支援制度」や最新の「保育士を取り巻く状況」を理解させ、就職意欲を喚起させた上で、そのまま面接の場を提供できたことから、通常のミニ面接会と比較し面談数も多く就職にもつながったことから効果が高い取組となった。

≪照会先≫ 神奈川労働局職業安定部職業安定課　・・・・・・（045-650-2800(代)）(https://jsite.mhlw.go.jp/kanagawa-roudoukyoku/)

【神奈川県川崎市】【神奈川労働局ハローワーク川崎北】

小田急線沿線を就業場所とする企業を募り、沿線在住求職者の正社員雇用を促進するための面接会を実施

【課題･目的】

ハローワーク川崎北が実施する「正社員就職強化月間」の取組として、正社員雇用の促進のため実施。
また、川崎市民の正規雇用就職を促進するという共通目的から、川崎市と連携し面接会を開催することとした。

【実施概要】

- ◆ 主催：ハローワーク川崎北・ハローワークプラザ新百合ヶ丘
  共催：ハローワーク町田・府中・相模原・厚木・大和
  後援：川崎市
- ◆ 「就業地最寄駅が小田急線沿線である正社員求人」という条件を満たす事業所を主催所管内より５社、共催所より１～２社の推薦を受けて参加事業所を選定した。
- ◆ 川崎市の後援を得て、川崎市施設（区役所・図書館等）を活用した全市内的広報を展開。

≪ハローワーク川崎北と川崎市の連携による面接会≫

【役割分担】

【川崎市】
- ◆ 会場の提供
- ◆ 市施設における市民向け広報
- ◆ 当日の運営

【ハローワーク川崎北】
- ◆ 面接会の企画
- ◆ 参加事業所募集・選定
- ◆ 求職者向け広報
- ◆ 当日の運営

【効果】
- ◆ 参加事業所数11社　参加求職者数36名　面接件数　延べ41件
  採用者数６名（全員正社員）
- ◆ 川崎市の協力を得ることにより、全市内的広報の実現と、区役所を活用した面接会の実施を行うことができた。

＜川崎市コメント＞
これまで本市主催の面接会では対象としていなかった幅広い年齢層の求職者に対し、市内及び近隣地域の企業との出会いの場を提供することができた。
＜ハローワークコメント＞
川崎市と連携して実施することにより、今までにない場所、スケールの面接会を実施することができた。

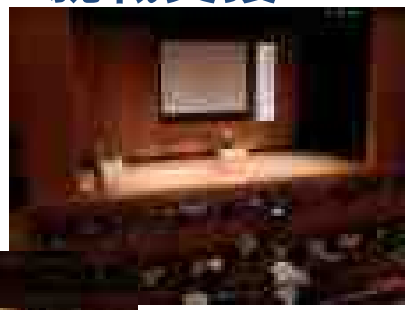
≪照会先≫ 神奈川労働局職業安定部職業安定課　･････(045-650-2800(代))(https://jsite.mhlw.go.jp/kanagawa-roudoukyoku)

【富山県 とやま呉西圏域（高岡市・射水市・砺波市・氷見市・南砺市）】
【富山労働局 ハローワーク高岡・砺波・氷見】

連携中枢都市圏との共催による地元企業の人材確保・就職支援

【課題・目的】

首都圏等への人材流出等による人口の減少に伴い、地元企業にとって人材確保は最重要課題となっている。このため、地域活性化を図るため、連携中枢都市圏として国から認定された富山県西部地域６市と管轄ハローワーク３所が連携・協力して、地元企業の魅力発信セミナーと企業説明会・就職面接会をセットで開催。



≪企業の魅力発信セミナー≫

≪新卒者・転職者向け就職フェア≫

【実施概要】

◆ 企業の魅力発信セミナーの開催
「応募の可能性を高める企業づくりと情報発信について」
◆ 新卒者・転職者向け就職フェアの開催

【役割分担】

【県西部地域6市（とやま呉西圏域）】
- ◆ 事業全体の企画・運営、会場準備
- ◆ 参加企業の募集
- ◆ 市報、市ホームページによる周知、開催チラシの作成
- ◆ 当日の進行、運営
- ◆ 移住・定住相談コーナーの設置

【ハローワーク】
- ◆ セミナーでの講師の準備
- ◆ 面接会参加企業の求人受理
- ◆ 求職者への参加呼びかけ
- ◆ 当日の運営協力、職業相談コーナーの設置

【効果】

◆ 企業の魅力発信セミナー　116名参加（95社）

セミナーの内容について、約8割の参加者から好評価を得ることができ、また、雇用管理改善の意識醸成も図られた。

◆ 新卒者・転職者向け就職フェア　281名参加

参加企業　新卒者向け（午前）110社　転職者向け（午後）102社

各市、ハローワークが企画段階から協力し、広域的かつ効果的な広報を行ったことにより、一定の成果が見られるとともに、この企画を通じて、ハローワークと地方自治体との連携が一層強化された。さらに、各市で参加企業募集を担当したことにより、日頃ハローワークの利用がない企業の参加や求人確保にもつながった。

また、求人者向けセミナーと企業説明会・面接会を組み合わせて企画することにより、企業の人材確保を総合的に支援することができた。

＜高岡市コメント＞

とやま呉西圏域連携事業として初めての開催でしたが、企画の段階からハローワークの方からアドバイスをいただき、安心して取り組むことができました。

＜ハローワークコメント＞

ハローワーク3所と管轄６自治体が広域的、一体的に事業主向けセミナーや企業説明会・面接会に取り組むことにより、地元企業のＰＲや人材確保に繋がる機会となった。

今後も自治体と連携して雇用対策を積極的に推進していきたい。

≪照会先≫ 富山労働局職業安定部職業安定課　（TEL：076-432-2782）（http://jsite.mhlw.go.jp/toyama-roudoukyoku）

【福井県永平寺町】【福井労働局ハローワーク福井】

人材確保対策のため、共同事業として事業所訪問を実施

【課題･目的】

永平寺町は、町内にハローワーク（付属施設を含む）もなく、他の市町に比べ、人材確保対策に苦慮していた。

このため、平成28年7月に雇用対策のノウハウを持っている労働局（ハローワーク）と雇用対策協定を締結し、一体的・体系的・組織的に、地元企業の人材確保対策に積極的に取り組んでいる。

【実施概要】

◆ 雇用対策協定締結後、行政（町・国）に対する期待が高まってきたことから、地元企業の充足ニーズの把握を目的とした人材確保対策の一環として、ハローワークの職員、永平寺町担当課の職員及び永平寺町商工会（経営指導員）の三者による事業所訪問を月1回（数社）実施し、企業の生の声を活かした求人充足サービス等に取り組んでいる。

≪ハローワーク福井と永平寺町の連携による事業所訪問≫

【役割分担】

【永平寺町】
- 商工会との調整による訪問事業所の選定、訪問日時のアポイント
- 町の各種支援制度の説明
- その他、関係機関への取り次ぎ、連絡調整等

【国】
- 雇用情勢の説明、景況の把握
- 求人・求職ニーズの把握
- 求人票の作成支援、助言
- 各種助成金制度の説明
- 個別求人開拓、求人担当制の実施

【効果】

◆ 永平寺町を就業地とした求人の充足率が6.3%アップ

◆ 事業所訪問を実施した事業所を対象として、町内で初めて「永平寺町きらめき就職面接会」を開催

H29.１１.２１開催：参加者事業所11社、参加者17名、就職件数５件の実績

＜永平寺町コメント＞

訪問した事業所から求人ニーズ等を聞き取り雇用対策に活かすことで、地域住民の雇用の安定等を図り「出会いよし、子育てよし、働いてよし、住んでよし 永平寺町」の実現を目指しています。

＜労働局コメント＞

ハローワークをあまり利用することがなかった事業所から、事業所訪問時に求人ニーズを聴き取り、求人票の作成支援を行うことによって、求人の充足に繋げることができている。

今後、永平寺町と連携しながら各種支援対策に取り組んでいきたい。

≪照会先≫ 福井労働局職業安定部職業安定課 （☎0776-26-8609） （HPアドレス）https://jsite.mhlw.go.jp/fukui-roudoukyoku/

【山梨県南巨摩郡南部町】【山梨労働局　ハローワーク鰍沢】

ふるさとハローワークによる出張相談を実施

≪ハローワーク鰍沢と南部町の連携による出張相談≫

【課題･目的】

地域の住民及び事業主に対する行政サービスの向上を図るため、身延町ふるさとハローワーク（ハローワーク鰍沢）の相談員が、毎月１回南部町役場に出張し相談を実施する。

【実施概要】

- ◆ 町庁舎の会議室や相談室を使用し、出張相談を実施。
- ◆ 地域の住民に職業相談・職業紹介・求人情報の提供を行う。
- ◆ 地域の事業主から求人の受理を行う。

【役割分担】

【南部町】
住民への周知
広報への掲載
相談用の会場を確保

【国】
職業相談・職業紹介
求人情報の提供
求人の受理

＜南部町コメント＞
ハローワークが遠いため、実施はとても助かる。実施回数は現状のままで良い。

＜ハローワークコメント＞
町の積極的な周知活動により、多くの住民の利用がある。最寄りのハローワークまで地理的に遠い事から必要性が高い。

【効果】

- ◆ 平成２９年度は４２人が相談に来庁。求人情報の提供６７件、内４件の職業紹介を実施。
- ◆ 地域の住民への行政サービスの向上が図れた。

≪照会先≫ 山梨労働局職業安定部職業安定課（055-225-2857）（https://jsite.mhlw.go.jp/yamanashi-roudoukyoku/）

【岐阜県各務原市】【岐阜労働局ハローワーク岐阜】

大型商業施設内で企業説明会＆相談会を各務原市と共同開催。

マザーズコーナーも設けて求職者を掘り起し。

【課題･目的】

ものづくりの街として発展する各務原市では景気回復により製造業を中心に人手不足が深刻化しており、労働局との雇用対策協定に基づく事業計画の一つとして、合同企業説明会＆相談会を共同開催している。

【実施概要】

中途採用者・パート希望者等の就職支援および市内企業の人手不足の解消のため年３回開催。このうち１回は市の移住・定住相談ブースがある大型商業施設の会議室において、「仕事と子育てを両立しやすい求人」を中心に開催。買い物客から潜在求職者の取り込みを見込み、マザーズコーナーも設けて実施。

【役割分担】

【各務原市】
- ◆事業運営と会場確保
- ◆出展企業の選定
- ◆周知・広報

【国】
- ◆周知・広報
- ◆出展企業の求人情報等提供
- ◆マザーズコーナー相談

【効果】
- ◆　市内出展企業１３社。来場者数４９人（男２２人　女２７人）。
- ◆　製造業求人が中心であったが、大型商業施設が会場で、マザーズコーナーを設けたことから、子育て中の女性も多く来場された。
- ◆　同コーナー相談者は大半がこれから働きたい方であるものの、HWの周知・利用促進にも効果があり、潜在求職者の意識向上と掘り起しに繋がった。

＜各務原市コメント＞

人口減少が進む中、市内事業者は、十分な人材の確保が出来ていない。特に女性求職者は、イメージで製造業や福祉の職場を敬遠する傾向があった。近年は、女性の働きやすさに目を向けた事業者も増えてきており、今後もこういったマッチング事業を実施することを通じて、両者の仲介を図りたいと考えています。

＜ハローワークコメント＞

製造業を中心に人手不足が深刻化する中、各務原市と協力して行うターゲットを絞った企業説明会等は、潜在求職者の掘り起しにつながる事業として期待しています。

≪照会先≫ 岐阜労働局職業安定部職業安定課（TEL058－245－1311）

【岐阜県大垣市】【岐阜労働局ハローワーク大垣】

潜在保育士の現場復帰に向けたセミナーの開催

【課題･目的】

保育士不足が懸念されている中、潜在保育士の保育現場への復帰に対する不安を解消し就職・再就職に繋げる

【実施概要】

◆　セミナー内容

年間３回実施（1回につき3日コース）
最近の保育情勢等の講義（大学講師による）
手遊び・読み聞かせ等実技指導
施設見学及び保育体験
ハローワークによる就職サポート相談

【役割分担】

【大垣市】
◆セミナーの企画・運営
◆広報等による受講者募集

【ハローワーク】
◆3日目の就職サポート相談
（雇用失業情報、求人情報等の提供、個別相談）
◆マザーズコーナーでの受講者募集

【効果】

◆　3回で延べ18人が受講
◆　保育士等に採用された人数４人
◆　臨時職員等の登録簿への搭載人数３人

≪ハローワーク大垣と大垣市の連携によるセミナーの開催≫

＜大垣市コメント＞

保育士再就職希望者や資格は持っているが実際に保育園等で勤務の経験がない方などを対象に、保育を再び学びなおす研修会や実習を開催し、現場復帰に向けて支援しています。

＜ハローワークコメント＞

保育体験後に求人情報や個別相談を行うことで再就職への意欲をより高めることができます。

≪照会先≫ 岐阜労働局職業安定部職業安定課（TEL058－245－1311）

【岐阜県飛騨市】【岐阜労働局ハローワーク高山】

雇用対策協定に基づく出張相談に併せた「介護就職デイ」を開催

【課題･目的】

ハローワークへの公共交通機関が不便であり、求職者の利便性の向上や潜在求職者の利用促進を図り、労働力確保に取り組むもの。

【実施概要】

- ◆ 毎月１回の出張相談を実施
- ◆ 出張相談に併せたミニ面談会の開催
- ◆ シルバー人材センターの相談窓口を併設

≪ハローワーク高山と飛騨市の連携による介護就職デイ≫

【役割分担】

【飛騨市】
- 施設の提供
- 周知、広報
- 市の窓口において、職業相談が必要な者に対する誘導

【国】
- 職員等の出張による職業相談
- 求人情報の提供

【効果】

◆出張相談には、毎月平均２３人／日が相談に来所し、紹介に取り組み、１７人が就職した。

◆介護就職デイを５回開催し、１９事業所が参加した。求職者３１人が、延べ４９件の面談を行い３人が就職した。

＜飛騨市コメント＞
人口の少ない本市では職種を絞った就職相談会は実施しづらいのですが、ハローワークとの連携のおかげで求職者にタイムリーな相談会が実現できました。実績も出て自治体として大変感謝しています。

＜ハローワークコメント＞
実績の上がりにくい介護分野について、出張相談との相乗効果を狙い、結果として効果的な取組となった。

≪照会先≫ 岐阜労働局職業安定部職業安定課（058-245-1311）

【静岡県静岡市】【静岡労働局ハローワーク静岡】

介護人材確保のため資格取得支援から職業紹介まで一貫して実施

【課題･目的】

人手不足分野である介護職への就職を促すため、求職者への資格取得支援から職業紹介まで、短期間で効率的に実施する。

【実施概要】

- ◆ 静岡市が介護職員初任者研修（無料）を開催し、介護職員初任者研修講座の資格取得を支援。
- ◆ 静岡県社会福祉人材センターとハローワーク静岡が連携し、福祉ミニ就職相談会を開催。
- ◆ 研修受講者を就職相談会に誘導して就職に結びつけるよう、静岡市、社会福祉人材センター、ハローワークが協力。

≪ミニ就職相談会≫

【役割分担】

【静岡市・ハローワーク・社会福祉人材センター】
求職者への周知案内

【静岡市】
介護職員初任者研修の実施

【社会福祉人材センター・ハローワーク】
ミニ就職相談会＆セミナー開催

資格取得率
就職率アップ！
満足度100%！

【効果】

◆ 訓練受講者の就職意欲向上による資格取得率及び就職率の向上
- 資格所得率　96%（平成２８年度：受講者27名）
- 就職率　100%（平成28年度：調査回答者14名）

※平成29年度においては、資格取得率100%（受講者39名）、就職率は調査中。

＜静岡市コメント＞
介護職へ就職することだけを目的とした研修講座ではありませんでしたが、受講者の就職意欲を掻き立てることができ、かつ資格取得率と就職率の向上に繋がりました。

＜社会福祉人材センターコメント＞
福祉人材センター・ハローワーク連携モデル事業を通じ、静岡市の協力のもと福祉分野の人材確保につなげることができました。

＜労働局コメント＞
ハローワーク静岡、静岡市、社会福祉人材センターとの連携・情報共有から生まれた好事例の一つです。

≪照会先≫ 静岡労働局職業安定部職業安定課　･･･(054-271-9950)(https://jsite.mhlw.go.jp/shizuoka-roudoukyoku/)

【京都府宇治市、城陽市、久御山町、宇治田原町】【京都労働局 ハローワーク宇治】

人材確保対策のため「オール地元」で会社説明会を共同開催

【課題･目的】

当所の平成30年2月の有効求人倍率は1.93倍と京都府内で最も高く、企業の人材確保対策が地域の大きな課題となっています。

当所では、これまでから管内２市２町や商工団体との協力関係を積極的に構築しており、これを活かし、共同で会社説明会や企業見学会等の取組も行ってきました。

平成29年度には、これらをさらに発展させ、京都府の参画も得て「オール地元」による共同事業を実施するに至ったものです。

ハローワーク宇治、京都府、２市２町、商工団体との連携による「ものづくり企業説明会」の様子

【実施概要】

- ◆ 宇治市、久御山町とは地元で「会社説明会」を平成27年度から毎月共同開催しており、平成29年1月までに延べ49回開催してきました。
- ◆ さらに、平成29年度においては、城陽市と誘致企業を対象とした会社説明会を３回、宇治田原町とは町内企業の魅力発見の「バスツアー」を２回開催しました。
- ◆ このような成果を基に、京都府の参画も得て、管内で人手不足が深刻な製造業（ものづくり）にスポットを当てた『ものづくり企業説明会』を国、府、２市２町、商工団体の「オール地元」で平成30年2月15日に開催するに至ったものです。

【役割分担】（例：ものづくり企業説明会）

【２市２町】
地域住民への広報、地元のＰＲ

【国（ハローワーク宇治）】
全体調整、求人受理、求職者参加勧奨

【商工会議所・商工会】
参加企業募集

【京都府（京都ジョブパーク）】
当日運営、参加企業募集、求職者募集

【効果】

- ◆ 宇治市、久御山町との会社説明会には、これまで延べ231社の企業、470人の求職者が参加し、51人の就職が決定
- ◆「ものづくり企業説明会」には18社の企業、62人の求職者が参加

＜宇治市コメント＞

ハローワーク宇治さんとは、日常的に雇用失業情勢や管内企業の動向等についての情報交換を密にさせてもらっています。

今後とも連携・協力し、地域産業の振興に努めていきたいと考えています。

＜労働局コメント＞

地元企業の人材確保を図るため、共同の輪を広げながら国・府・市が連携して積極的に取組を展開しています。

この輪が大きな成果を生むことを期待しています。

≪照会先≫ 京都労働局職業安定部職業安定課　企画調整係　（電話番号）075－241－3268

【京都府福知山市】【京都労働局ハローワーク福知山】【事業主団体】【京都府】

福知山市・事業主団体等とハローワークで様々な雇用促進活動を推進

【課題･目的】

福知山地域における雇用促進を柱に、産業の振興と地域の活性化に寄与するため、福知山市、ハローワークを中心に京都府、事業主団体等で「福知山雇用連絡会議」を設置し、様々な活動を行っています。

≪福知山雇用連絡会議による『綾部・福知山合同就職フェアin京都』≫

【実施概要】

①新規採用社員合同研修　②綾部・福知山合同就職フェアｉｎ京都　③ふくちやま企業ガイドの作成　④ふくちやま就職フェスタ　⑤公正採用啓発　⑥福知山・綾部合同就職フェア　⑦就職希望高校生ワークショップ　⑧「ふるさと就職おうえん事業」企業見学会　⑨京都北部合同企業説明会ｉｎ福知山公立大

【役割分担】

【福知山市】
地域住民への広報
生活関連情報の提供

【ハローワーク福知山】
全体調整、求人者募集・受理、求職者募集・参加勧奨

【京都府】
京都府内外への広域広報
セミナー講師

【事業主団体】
会員企業への周知啓発等

【効果】

①１０社から１９名参加　②参加企業４６社　参加者６６名　内定者１０名　④参加企業６６社　参加者１０７人　内定２１人　⑥参加企業６２社　参加者１００名　内定者１７名

＜福知山市コメント＞

地域企業への関心を高め、雇用のミスマッチの解消に向けた就職面接会は、一定の役割を果たしています。求職者の早期就職、市内企業の人材確保につながるよう、今後もハローワーク等の関係機関と連携し、積極的に事業を推進していくこととしています。

＜労働局コメント＞

福知山市と事業主団体等とのコラボレーションにより様々な事業を実施しています。
京都府や他の市等との連携を図りながら、積極的な事業を展開しています。

≪照会先≫ 京都労働局職業安定部職業安定課　企画調整係　　（電話番号）075－241－3268

【大阪府】【大阪労働局ハローワーク大阪東】

人材不足分野（建設）の人材確保対策のため、職場環境改善セミナーを実施

【課題･目的】

雇用失業情勢の改善に伴い、求人が増加する一方で、求職者が減少しており、人材不足が一層深刻化しています。

このため、人材確保を必要とする建設分野において、大阪府と建設業界団体とコラボして、中小企業の事業主や人事労務担当者を対象とした職場環境改善に向けたセミナー＆相談会を開催しました。

【実施概要】

◆建設業界における人材確保や定着につながる職場環境づくりや求人票の書き方、職場環境改善に関する助成金について紹介。

◆個別相談会では、労務管理や就業規則等に関して具体的な相談を実施。

【役割分担】

【大阪府】
- 事業の企画・運営
- 企業への開催案内・勧奨
- セミナー会場の確保
- 個別相談への対応

【ハローワーク大阪東】
- 魅力ある求人票の作成や各種助成金について説明し雇用管理改善を働きかけ
- 個別相談への対応

【効果】

◆参加者数　７６人（個別相談　２人）

◆参加企業からは「他社の実例が聞けて参考になった」「自社の中間管理職にあらためて聞かせたい」といった声があり、職場環境改善のきっかけを作ることができた。

＜大阪府コメント＞

人材確保や定着に課題を持つ企業に対して、職場環境改善に取り組む必要性について働きかけを行う事業が効果的に実施できました。今後も引き続き、国や業界団体等との連携により、取組を進めます。

＜労働局・ハローワーク コメント＞

大阪府と建設業界団体との連携により、府内の企業に幅広く参加を呼び掛け、建設業界のニーズに合わせたセミナーを開催することができました。

≪照会先≫ 大阪労働局職業安定部職業安定課（TEL：06-4790-6300）（HP　https://jsite.mhlw.go.jp/osaka-roudoukyoku/）

【大阪府柏原市】【柏原市商工会】【大阪労働局／ハローワーク藤井寺】

福祉人材確保対策のため、共同事業として介護施設見学バスツアー＆個別面談会を実施

【課題･目的】

人材不足が著しい介護・福祉関係事業所の人材確保支援として、福祉のお仕事に関心のある方を対象に実際の介護施設の職場見学・個別面談会を実施することで、介護職への理解を深め就職意欲の喚起を図る。

【実施概要】

◆対象者：福祉のお仕事を考えたい方・関心のある方
◆11月９日（木）柏原市内の特別養護老人ホーム２ヶ所をバスで見学
　・施設見学、施設のご担当者から施設の特徴や介護の仕事内容を説明いただく
　・質疑応答、意見交換
◆11月13日（月） ハローワーク藤井寺内で見学施設の個別面談会。

【役割分担】

【柏原市】
・施設見学用のバスの確保
・施設見学バスツアーの運営
・市の広報誌や市施設で市民への周知

【柏原市商工会】
・施設見学バスツアーの運営

【ハローワーク藤井寺】
・見学先事業所の選定・調整
・求職者への周知
・施設見学バスツアーの運営
・個別面談会の運営

【効果】

◆　施設見学会　参加者７名
　参加者アンケート「介護職への興味は高まったか？」の設問に「今後資格取得・就職も考えたい」「興味が高まった」が85%、後日、うち３名が介護職で就職、３名が職業訓練相談に来所。
◆　個別面接会　参加者３名

＜柏原市コメント＞
　今回のバスツアーでは生の現場を見たことで参加者から多くの質問が飛び交い、施設担当者も介護現場の実態を知ってもらえてうれしいと話されていた。面接会にも繋がり、介護人材確保の一助になっていると感じる。

＜労働局・ハローワーク　コメント＞
　柏原市の協力によりバスツアーという形式が実現し、一度に複数の施設を見学し介護現場の方と接することで、介護職種についての理解を深める良い機会となった。また、協力して幅広く周知することで潜在的求職者の掘り起しも期待できる。

≪照会先≫ 大阪労働局職業安定部職業安定課（TEL：06-4790-6300）（HP　https://jsite.mhlw.go.jp/osaka-roudoukyoku/）

【兵庫県明石市】【兵庫労働局明石ハローワーク】

明石市主催の就職フェアでの連携による保育士確保の取組

【課題･目的】

明石市は、子育て世代等の転入が続き、待機児童数は全国第6位（547人、29年4月1日現在）で、保育士確保が喫緊の課題。
ハローワークの連携により、潜在保育士の再就職促進を図る。

【実施概要】

「第３回　就職フェアｉｎ明石」
日　時　平成３０年２月４日（日）１３時～１５時
会　場　ホテルキャッスルプラザ１階鳳翔
参加保育所　民間保育所・認定こども園を運営する１７法人

【役割分担】

【明石市】
- ポスター掲示、チラシ配布による潜在保育士への周知
- 保育士資格が取得できる大学等への周知
- 就職フェアの運営全般
- 市独自の保育士確保政策（就職一時金、保育士児童の優先入所等）の相談

【国】
- 保育に特化した掲示板の設置、窓口・郵送による情報提供
- 事前に参加法人を訪問し、情報収集、条件緩和、求人内容の明確化など助言を実施
- 参加者の誘導、求職登録・職業相談、参加法人への人材確保に係る助言を実施。

≪ハローワーク明石と明石市の連携による就職フェア≫

【効果】

◆参加者７０人（うち潜在保育士２５人）。職業相談８人、求職登録１人であった。
◆事前に参加法人（１３法人）を訪問し、情報収集等を行ったことで、参加者へ具体的な情報提供が可能となり、スムースな誘導に繋がった。
◆今回の連携を契機に、明石市が主催する保育士確保関連のイベントとの連携が深まり、明石市が今年度設置予定の「保育士総合サポートセンター（仮称）」との積極的な連携を図る予定。

＜明石市コメント＞
ハローワーク明石のネットワークを活用し、広く情報発信が図れたほか、就職フェア来場者や参加法人への専門家による相談助言アドバイスの機能が加わり、就職フェアの一層の充実につながった。
＜労働局コメント＞
今回の連携を契機に、管理選考や職場見学会を開催し、保育士確保の端緒となった。今後は、「保育士総合サポートセンター」との連携を図りたい。

≪照会先≫ 兵庫労働局職業安定部職業安定課　‥(078-367-0802)(https://jsite.mhlw.go.jp/hyogo-roudoukyoku/)

【広島県】【広島市】【広島労働局ハローワーク広島・可部・広島東・廿日市】
【介護労働安定センター広島支部】【広島県ナースセンター】【広島市私立保育園協会】

福祉人材確保対策のため、就職セミナー・企業説明会・面接会を組み合わせた総合就職フェアを実施

【課題・目的】

小売業を中心に、全国的にも上位の有効求人倍率であるうえ、大型福祉施設のオープンが相次ぐ広島市において、福祉人材の確保は喫緊の課題。介護・看護・保育の各団体や自治体と連携し、総合的に福祉職への就職をアピールし、福祉人材全体の掘り起こしを行っている。

【実施概要】

◆介護労働安定センター、ナースセンター、保育園協会、広島県保育士人材バンク、ハローワークによる就職セミナー・就職相談
◆福祉事業所による事業所説明、面談・面接

【役割分担】

【広島県・広島市】
◆会場の確保（無料）
◆広島市内関連施設、公民館、広報誌にてイベント周知

【国】
◆周知用リーフレット作成
◆求職者に係る周知・広報
◆参加事業所確保
◆当日の運営及び調整

【効果】１０月、２月の２回開催

◆　就職件数　　４３件
◆　参加求職者　　２５５名　　（10月　116名、2月　139名）
　　うち、セミナー参加者　１４８名
◆　参加事業所　　６１社　　ブース相談件数　３４１件
※その他多くの参加者が福祉事業所に就職しており、セミナーも一定の効果を上げている。

＜広島市コメント＞
介護・看護・保育の求人事業者が一同に会した総合的な取組として、地元メディアにも取り上げられ、福祉人材の掘り起こしに向けたアピールに繋がっている。

＜労働局コメント＞
国・県及び市が『福祉人材確保』という喫緊の課題に共同で取組む事で、対外的なPR効果が高くなり、潜在求職者の掘り起こしにも繋がり、予想以上に効果的な支援を行うことができた。

≪照会先≫ 広島労働局職業安定部職業安定課　（082-502-7831）（https://jsite.mhlw.go.jp/hiroshima-roudoukyoku/）

【長崎県西海市】【長崎労働局ハローワーク西海】

若年者の地元定着と企業の魅力を情報発信！参加者にも新たな発見が･･･

【課題･目的】

西海市は、新規学卒者等をはじめとする若年労働者の市外流出や急速な少子高齢化が進むなか、近い将来、労働力人口が大幅に減少することが懸念されている。そこで、地元企業の魅力を情報発信する場を提供することで、参加者にも新たな発見を期待し、求人求職のマッチングに繋げる。また、夏の帰省時期に開催することで、ＵＩＪターン又は移住者等の面談機会を提供し、西海市の魅力を発信する。

【実施概要】 ≪平成28年8月11日（金・祝）開催≫

●参加企業 15社　高校生と先生が希望する企業・誘致企業・商工会推薦企業等	
●企業説明会（第1部）午前の部 高校生及び保護者向け	●企業面談会（第2部）午後の部 一般求職者・UIJﾀｰﾝ希望者・新卒者
・生徒が企業ブースを訪問 ・企業説明者のうち1名は若手社員	・面談を希望する企業ブースを訪問 ・適職診断、職業相談、移住相談ｺｰﾅｰ併設

【役割分担】【共通】HP掲載、会場運営

【西海市】
- 市長による企業ブース訪問
- 会場借り上げ、設営
- 送迎バスの運行
- 広報紙、新聞折込み
- ポスター、企業PRシート印刷
- 防災行政無線による開催案内
- 移住相談コーナー運営

【ハローワーク西海】
【ヤングハローワーク長崎】
- 求人受理と求人票印刷製本
- 求職者、学校への参加要請

【西海市商工会】
- 会員企業への参加要請

【若年者地域連携事業】
- 高校、企業へのヒアリングと参加要請
- ポスター、チラシのデザインと校正
- 企業PRシートの原稿依頼と校正
- 企業サインの作成
- 適職診断コーナー運営

【長崎県総合就業支援センター】
- 適職診断コーナー運営

【効果】

◎参加者【第1部】65人　【第2部】29人　面談総数47人　就職件数4人

◎参加企業のうち6社が高卒求人提出。西海市内の高校生の採用実績が前年度実績ゼロが、今年度7名が採用となった。この企業説明会が高校生と地元企業の交流の場となったことが採用に繋がったと思われます。

≪西海市とハローワーク西海及び関係機関の連携による企業説明会・企業面談会≫

＜ハローワーク西海コメント＞

西海市から企業面談会の共催依頼を受けて、市が抱える課題・目的とハローワークの政策的課題がマッチングしたことで、様々な関係機関や団体を巻き込み、それぞれの強みを活かすことで、短期間でこのイベントを開催することができました。西海市での初開催でしたが、参加者及び企業アンケートの結果も概ね好評でした。

その後も、医療福祉分野の面談会（1月）や高校1.2年生を対象とした企業研究会（3月）も開催するなど、引続き市や関係機関と連携し、地域住民サービスの向上を図っているところです。

≪照会先≫ 長崎労働局職業安定部職業安定課
（電話番号）095－801－0040
（HPアドレス）https://jsite.mhlw.go.jp/nagasaki-roudoukyoku

【長崎県平戸市】【長崎県】【ハローワーク長崎】【ハローワーク江迎】

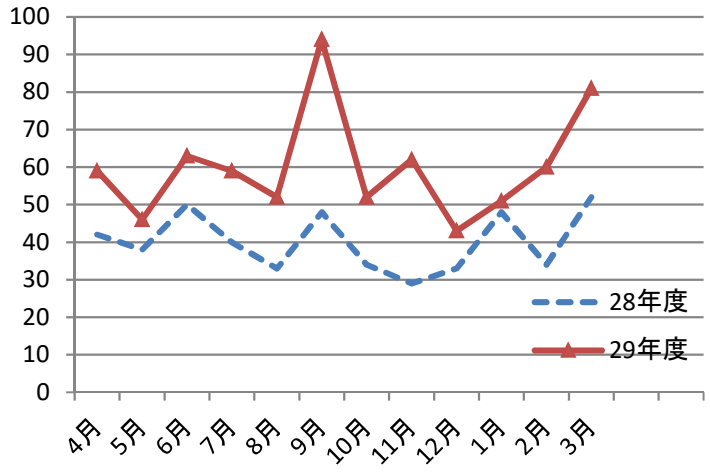
県・国の共同巡回相談日にミニ面談会を同時開催

【課題･目的】

◆人口流出が著しい離島・半島地域において、県・国共同で就職支援サービスを実施し、地元への就職促進を図る。

【実施概要】

◆平戸市で毎月2回実施している長崎県とハローワーク長崎の巡回相談に併せ、毎月1回ミニ面談会を開催している。
管轄ハローワークであるハローワーク江迎が参加事業所を選定し、長崎県は、選定企業を訪問のうえ面談会の参加要請を行うとともに、開催要領や長崎県の人材確保にかかる取組の説明を行っている。



≪ハローワークｉｎ平戸
（離島・半島巡回）相談利用者数≫

【役割分担】

【市】
周知・広報

【県】
企業訪問
周知・広報
面談会当日対応
個別カウンセリング

【国】
求人開拓・選定
配布用求人票準備
周知・広報
面談会当日対応
職業相談

【効果】

◆　面談会参加企業は計20社、参加者は98名で、面談者は56名であった。
◆　巡回相談利用者数も増加

＜平戸市コメント＞
◆地理的条件が不利な離島・半島を抱える本市において、職業相談や面談会を市内で行えることは、移動手段を持たない求職者等にとって利便性の向上となるほか、市内の雇用情勢をより活性化させ、当市が抱える人口減少問題等解決に寄与するものと期待しています。
＜長崎県コメント＞
◆県内就職、特に離島・半島地域の地元企業への就職促進のため、効果的な取組と捉えており、今後も取組を継続し、求職者・求人企業に活用していただきたい。
＜ハローワークコメント＞
◆平成28年度下期からの取組が定着し、巡回相談の来所者数の増加にも繋がっており、今後とも継続していきたい。

≪照会先≫ 長崎労働局職業安定部職業安定課･････095(801)0040　https://jsite.mhlw.go.jp/nagasaki-roudoukyoku

【長崎県】【ながさき生涯現役応援センター】【ハローワーク長崎】

利用者拡大のためイベントホールで求人票公開会を実施

≪長崎県・ながさき生涯現役応援センター
・ハローワーク長崎との連携による求人票公開会≫

【課題･目的】

◆長崎市北部に位置する一体的実施事業である共同施設、及び同施設内の生涯現役促進地域連携事業である「ながさき生涯現役応援センター」の周知・利用促進を目的として実施

【実施概要】

◆平成29年12月長崎市北部の商業施設に隣接するイベントホールにおいて求人票約800件を地域・職種別に紙媒体で掲示・公開するほか、セミナー、スーパーの仕事説明会、職業相談を実施。

◆対象：仕事を探す「すべての方」◆託児あり

【役割分担】

【長崎県】
【ながさき生涯現役応援センター】
セミナー企画・実施
周知・広報、当日運営

【国】
掲示用求人票準備
周知・広報
当日運営、職業相談

【効果】

◆来場者は20代から７０代までの20名となった。

◆地元ＴＶの取材もあり、各支援機関の周知に役立った。

＜長崎県コメント＞
◆生活に身近な商業施設での開催で、働く意欲はあるが、探し方がわからないという人にも、共同施設での就業支援を知ってもらう効果がありました。
＜ながさき生涯現役応援センターコメント＞
◆ハローワークとの連携により、セミナーをスムーズに開催することが出来ました。
＜ハローワークコメント＞
◆当共同施設を有効に活用していただくために工夫し、効果的に実施できた。

≪照会先≫ 長崎労働局職業安定部職業安定課･････095(801)0040 https://jsite.mhlw.go.jp/nagasaki-roudoukyoku

【熊本県熊本市】【熊本労働局ハローワーク熊本】

建設分野の「技を聴く」「技を視る」～職人への道～

【課題･目的】

熊本地震からの復旧・復興に欠かせない建設分野の人材確保を図るため、潜在求職者や未経験者等をターゲットに「技を聴く・視る」を開催。

【実施概要】

建設分野（型枠大工・左官・塗装・屋根・防水・鉄筋）の作業中ビデオ上映や各業界団体による仕事説明会を開催。参加者のうち希望者は後日作業現場や職場見学を実施。
熊本市技術専門学院（県認定職業能力開発校）共催。

【役割分担】

【熊本市】
- ■　会場確保（市施設）
- ■　市広報誌・ＨＰへの掲載
- ■　当日の運営全般

【ハローワーク・労働局】
- ◆業界団体への協力依頼
- ◆庁内掲示、チラシ配布
- ◆労働局ＨＰ掲載
- ◆当日の運営全般

＜熊本市コメント＞
若年者の技能職離れや、熟練技能者の高齢化により、技能の継承が危ぶまれる中、建設分野では熊本地震における人手不足が深刻化していた。労働局・業界団体とも連携し、職業訓練の見学など、潜在求職者の掘り起しに努めた。
＜労働局コメント＞
復旧・復興が急がれる中、建設分野での人材不足が大きな課題であった。業界団体、自治体と労働局、ハローワークとの連携により人材不足分野への関心を高める効果があった。継続して求職者の掘り起しに努めていく。

【効果】

■「技を聴く」参加者25名（うち高校生3名）
　　事業所　6社
◆「技を視る」見学者　３名（うち高校生１名就職）
●　報道機関2社から取材あり、国交省九地局視察。未経験者等の仕事理解を深めることができた。

≪照会先≫ 熊本労働局職業安定部職業安定課　･････････（TEL:096－211－1703）
（https://jsite.mhlw.go.jp/kumamoto-roudoukyoku/）

【大分県津久見市】【大分労働局ハローワーク佐伯】

ふるさとハローワークの利用促進のため、求人情報の掲示板を設置

【課題･目的】

「津久見市ふるさとハローワーク」の求人情報提供方法を改善し、利用促進を図るため。

≪津久見市役所に設置した掲示板≫

【実施概要】

津久見市内の公共施設（①津久見市役所②津久見市民図書館）に求人情報掲示板を新たに設置し、職種や賃金額、勤務時間等絞り込んだ項目を記載した、Ａ５サイズの求人カードを掲示している。

【役割分担】

【津久見市】
◆求人情報掲示場所の提供
◆求人掲示版の管理

【ハローワーク】
◆求人カードの作成・管理
◆掲示求人の選定

【効果】

◆多くの市民が立ち寄る施設に設置していることから閲覧者も多く、ふるさとハローワークを利用するきっかけともなり、利用者の増加につながっている。
◆各施設の利用者に、地元企業について関心や興味を持ってもらえる機会になっている。

＜津久見市コメント＞
市役所利用者の多くの方が立ち止まっており、好評である。
関心度も高く利用者も多いため、今後も継続していきたい。

＜ハローワーク佐伯コメント＞
津久見市の協力により、掲示板を設置することが出来た。また、市職員を通じた間接的な周知効果も見受けられ、今後も引き続き取り組んで行く。

≪照会先≫ 大分労働局職業安定部職業安定課 ・・・・・TEL:097-535-2090 （https://jsite.mhlw.go.jp/oita-roudoukyoku/）

【鹿児島県南大隅町】【鹿児島労働局ハローワーク鹿屋】

遠隔地の求職活動困難者支援のため、共同事業として出張相談を実施

【課題･目的】

鹿児島県大隅半島の最南端に位置する南大隅町は役場からハローワーク鹿屋まで約25キロ、車で1時間程度かかるため、求職活動に困難が生じている求職者が存在している。町内で職業相談・職業紹介等を受けられる体制を作ることで早期の再就職につなげることを目的とする。

【実施概要】

- ◆　ハローワークの就職支援ナビゲーターが一般求職者を対象に職業相談及び職業紹介等を実施。
- ◆　ハローワークに求職申込（登録）を行っている者で、南大隅町在住の求職者とし、一日当たり最大8名。
- ◆　実施場所は南大隅町役場内の中央公民館

≪ハローワーク鹿屋と南大隅町の連携による出張ハローワーク≫

【役割分担】

【南大隅町】
・相談に必要な、テーブル、椅子、電話（通信料含む）、パソコン使用のための電源を提供。

【ハローワーク鹿屋】
・毎月第2火曜日の１１時より実施
・事前予約
・就職支援ナビが生活保護受給者等を対象とした巡回相談に引き続き、一般求職者と相談

＜南大隅町コメント＞
交通弱者が多い生活困窮者等の方々の自立に向けた素晴らしい取組と感じている。
＜労働局コメント＞
　自治体の協力により遠隔地域の住民の方々にもハローワークのサービス・存在をより身近に感じていただく機会となっている。今後の利用者の増加につながるように取組を進めたい。

【効果】

◆就職件数の実績としては多くはないが、職業相談から紹介までワンストップでできる体制を提供できていることで地域住民へのサービスに貢献できている。
◆平成29年度実績
　出張相談回数　12回　　相談件数　34件
　（相談件数は、南大隅町在住の求職登録者の全相談件数の３．６％）

≪照会先≫ 鹿児島労働局職業安定部職業安定課 （099-219-8711）(https://jsite.mhlw.go.jp/kagoshima-roudoukyoku/home.html)

【沖縄県浦添市】【沖縄労働局ハローワーク那覇】

①「保育士の働き方改革の取組」　②「職場の雰囲気」　③「保育業務の負担軽減」を見える化

パッケージ化した初の取組、保育士「見える化」求人説明・面接会を実施

【課題・目的】浦添市は保育士不足により児童定員割れを生じるなど、保育士確保は喫緊の課題である。潜在保育士を意識し、再び保育の現場を検討してもらえるよう、**求人票では見えない職場環境や各保育園の取組等の「見える化」をテーマ**にして段階を経て面接会を行った。

【実施概要】

1．高齢者スキルアップ事業を活用しシニアの保育補助者を雇用

保育士業務の負担軽減のため「仕事の切り出し」を行い、無資格（補助）者で出来る仕事を整理。切り出した仕事に係る講習を実施。終了後に面接会を行った。

2．保育士の働き方改革宣言

浦添市内の保育園園長会と公立保育所所長会にて保育士の「働き方改革宣言」を行い、浦添市長、那覇所長とともに共同記者会見を実施。各々の園で取り組む「働きやすい職場環境作り」を宣言した。

3．「見える化」面接会の実施

面接会当日はじっくりと比較・検討できるように「見える化」コーナーと「面接」コーナーを分けて設置。負担軽減や働きやすさへの取組を「見える化」したボードを掲示。ボード横に各園ごとに保育士が常駐し、求職者が職場の雰囲気を気軽に質問できるようにした。

【役割分担】

【浦添市】
- 園長会「働き方改革宣言」の調整
- 各園との連絡調整
- 保育士資格保持者リスト作成

【共同】
- チラシ作成
- 周知・広報
- 会場設営・運営
- 園長会への働きかけ
- 保育士養成校への参加勧奨

【ハローワーク那覇】
- 企画・調整
- 高齢者スキルアップ事業の調整
- 対象求職者リスト作成

【効果】　◆実績　：保育補助面接会（55歳以上）15人参加６人採用
：保育士面接会（2回実施）85人参加　16人採用。

◆保育補助者の面接会に参加したシニアの方は「セカンドキャリアを考えるきっかけとなり、もう一度お役に立てる場を頂いた」と感想。保育士の面接会では「実際に働いている保育士の話を聞けてよかった」という声や「見える化」ボードを作成した求人者からは「今いる職員全体で働きやすさを振り返ることができた」という感想も寄せられた。

＜浦添市コメント＞

市内各園が働き方改革を意識するきっかけとなり、実際に新規学卒者の正規雇用や、既存保育士の雇用の安定にも繋がる等、ハローワークと連携することで大変効果のある施策が展開できた。
今後も市単独ではできない施策を、ハローワークと協力して取り組み、より良い市民サービスを提供していきたい。

＜ハローワーク那覇コメント＞

自治体と連携することで求人者（各保育園）と積極的な話し合いの場を重ね、これまでにない取組を実施することが出来た。今後も自治体と国、それぞれの強みを活かして連携していきたい。

≪照会先≫ 沖縄労働局職業安定部職業安定課(TEL 098-868-1655)(HP https://jsite.mhlw.go.jp/okinawa-roudoukyoku/)